

平成
31年度

どう生かすかまちの税金

予算総額 489億7千万円を審議、可決

1 市長、平成31年度予算の説明(2月14日)

平成31年度当初予算(議案第19号)の総額489億7千万円(前年度比72億8千万円増)

平成31年度予算審議に当たり冒頭、市長より「市政執行についての所信」があり、①安全・安心に暮らせる防災自立都市づくりの推進②若い世代の定住促進③健康寿命の延伸④自治協働の推進⑤産業振興の推進の5つの重点施策が示されました。

具体的には①自主防災組織や地域住民と連携し、防災体制の充実を図る。

②民間を活用した保育所整備、放課後児童クラブの建設、各学校のエアコン整備など教育環境の充実。また、鳴瀬地区旧小中学校舎を活用した全寮制の私立高等学校の実現。

③高齢者の社会参加促進と介護予防充実を図る。

④地区自治会制度について、地域まちづくり交付金等の検証を行い、よりよい市民協働のまちづくりを目指す。⑤企業誘致や既設工場の増設支援による、さらなる雇用創出を図る。また交流人口拡大に向けた観光振興等の施策を積極的に行う。とされています。

また分野別施策としては第2次総合計画にある8つの施策を引き続き目標として示されましたが、今後はより効果的、効率的な行財政運営が課題となります。なお、事業費の内訳は別表の各種会計のあらましを参照してください。

平成31年度各種会計のあらまし

(単位:千円)

会計区分	31年度予算額	30年度予算額	増減額	前年度比較
一般会計	335億7,900万0	292億8,000万0	42億9,900万0	14.7%
国民健康保険	44億3,157万3	46億4,748万3	△2億1,591万0	△4.6%
後期高齢者医療	3億6,079万2	3億6,565万6	△486万4	△1.3%
介護保険	32億4,503万0	30億2,885万1	2億1,617万9	7.1%
農業集落排水事業	1億2,454万2	1億2,782万1	△327万9	△2.6%
漁業集落排水事業	836万2	830万1	6万1	0.7%
下水道事業	69億5,069万4	34億1,596万8	35億3,472万6	103.5%
大曲浜地区土地区画整理事業	2億6,850万0	8億1,294万1	△5億4,444万1	△67.0%
(特別会計小計)	(153億8,949万3)	(124億7,021万1)	(29億8,247万2)	(24.0%)
合計(一般会計特別会計)	489億6,849万3	416億8,702万1	72億8,147万2	17.5%

総括質疑 Q & A

2月25日、3会派より議員各1名が、市長の予算編成方針等を質疑しました。

予算執行上の指針を問う

清風・公明 上田 勉
職員のマナーについて

A Q 職員の適材適所の配置や組織の見直しに努め計画的に事業を推進する。

A Q 子育て支援策は

A Q 私立保育園の開園や保育時間の延長を進める。

A Q 学力向上策と教育環境整備は

A Q 学校教育管理監を設置し、指導主事も2名とする。

A Q SDGsの年度の主たる目標は

A Q ①デジタル教科書の導入、ICT環境整備を推進する。

A Q 地域の次代を担う若者の定住化、放課後児童クラブ等の充実を図る。

A Q ③宮城オルレ奥松島コースの充実、パークゴルフ場などを整備し、生涯現役社会の創出を目指す。

平成31年度予算編成について

市民クラブ 大橋 博之
公共施設等の維持管理経費の増加

A Q 国庫補助金を有効に活用していく。地域の活動拠点について地元負担も検討していく。

A Q SDGs 未来都市の選定を受けた

A Q が今年度予算への反映は「全世代に住みよいまちづくり」に向け「子供」「若者」「高齢者」の各分野で予算措置している。

A Q 市債総額について

A Q 平成30年度末の現在高見込みは790万円となっている。

A Q 歳入全体について

A Q 財政調整基金は、今年度予算反映後の残高は約10億円の見込みであり、この水準を維持していくと考える。

平成31年度予算執行に関して

清新会 滝 健一
消費税引き上げによる影響は

A Q 歳出で約2,800万円である。影響を最小限に留めるよう運用していく。

A Q 震災後、市民税納税義務者数の推移を伺う

A Q 震災前約19,400人が、震災直後約12,200人まで減少。

A Q その後回復傾向となり、今年度は約19,300人となる見込み。

A Q 当初予定した復興事業の進捗が遅れが生じた場合の対応

A Q 引き続き最大限努力し平成32年度末までに復興事業を完了できるように努めていく。

A Q 不測で遅れた場合、復興と協議していく。